

## Special Issue on Practices and Supports for Online Classes

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-03-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 上林, 憲行 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://mu.repo.nii.ac.jp/records/1432">https://mu.repo.nii.ac.jp/records/1432</a>

巻頭言

## オンライン授業実践と全学支援特集について

### Special Issue on Practices and Supports for Online Classes

武蔵野大学 MUSIC センター長

上林 憲行

今般のコロナ禍によって、突然、大学のキャンパスを使った対面授業が実施できなくなるという前代未聞の事態が発生した。MUSIC も、この難局に必然的に巻き込まれて、しかも、予行演習なしのぶっつけ本番のオンライン授業の全学展開の司令塔を担うことになり、2020 年度は、日々悪戦苦闘の連続の日々であった。

幸いにも、背水の陣を組んで突貫工事で準備したことが、いずれも功を奏して、結果としては、当初の学事日程通りに年間の授業を実施することができたばかりでなく、意外にオンライン授業は、教員、学生の両者から、好意的に評価され、旧態然としていた大学教育にコペルニクスの転回を迫る大きな風穴を開けた歴史的な出来事として、長く後世に伝えられると考える。

その意味で、この突然のオンライン授業の全学展開に絡んで、さまざまな観点から、その実相を記録しておくと共に、オンライン授業を現場で実践された優れたベストプラクティスも記録にとどめ、オンライン授業の本格的な高度化に関するヒントの共有などに少しでも資するために、今回、MUSIC 紀要において、「オンライン授業の実践と支援体制」の特集を組むこととした。

今回、MUSIC の教職員以外にも、その呼びかけに呼応していただき、多くの方々に論文をご執筆いただきました。MUSIC が所管する情報科目群をご担当いただいた非常勤講師の皆様、武蔵野大学の他学科から実践事例に関する論文を寄稿いただいた皆様、特集の趣旨をご理解いただきご協力いただいたこと、紙面を借りて改めてお礼を申し上げます。